

郡山城跡公園整備事業について

丸谷 利一 議員

問 最近、郡山城跡公園整備事業が発表された。郡山のまちづくりについて、近鉄郡山駅周辺整備と郡山城跡の整備は大きな位置を占めている。この事業は、中世から近世にかけての城下町の歴史的な景観や街なみを内外に発信する大きな意義がある。本事業の概要と意義、今後の事業化に向けての具体的な日程についてお聞きしたい。

答 本事業は、城内学舎跡地を既存の西公園等とあわせて歴史公園として整備し国史跡指定を目指す計画であり、まちづくりの観点からも郡山城跡公園が核となって城下町が活性化するための様々な取り組みを推進します。令和3年度に用地を取得し、令和4年度から3カ年をかけて整備を行い、令和6年度末の公園開設を目指します。

国民健康保険について

尾口 五三 議員

問 コロナ禍における国民健康保険の取り組みと、新設された傷病手当金の申請状況、医療費の増減、保険料の減免についてお聞きし、資格証を減らす努力を求めました。また、パートナーシップ宣誓者が世帯主でなくても、傷病手当金を申請できるよう改善を求めました。

答 国保の取り組みでは、保険証の更新に当たり、本来、納税相談が必要な方についても、感染拡大防止の観点等から、保険証を一斉に送付しました。国保の傷病手当金の申請は、現在のところなく、医療費の増減は、今年の同時期に比べて大きな減少はありません。保険料の減免は、新型コロナウイルスの影響で収入が減少する見込みの方に対して、国の基準に従い、減免の準備を進めています。

住宅新築資金等貸付金について 待機児童について

上田 健二 議員

問 ①4月から、住宅新築資金等貸付金が回収管理組合から本市へ戻ってきたが、成果と今後は。②本市の「隠れ待機」を含めた待機児童数221名に対し、保育士不足が原因で保育園の定員には477名の空きがある。保育士の新規採用枠を2倍以上に拡げるべきだがどうか。

答 ①借受人から全額一括返済された債権もあり、順調に回収が進んでいる。今後も回収に最大限努力を続けると共に第三者機関の設置や債権回収の基準づくりを進めたい。②保育士の確保策として、市独自に募集説明会を開催するほか、今年度から市役所やイオンモール大和郡山に設置の電子看板を利用し広報を行っている。毎年度保育士を採用し、確保に向け最大限の対策を講じていきたい。

地域交通について

吉川 幸喜 議員

問 高齢者の移動支援施策として、市が主体となり運転は地域団体等が行い、利用者から運送の対価を一切得ない形とする輸送サービスについて、取組みの状況をお聞かせください。先進地では、運転ボランティアの高齢化により継続した育成に課題があるため、団体への補助金を提案し、早期実現に向け、地域への支援を要望します。

答 2か所の地区社会福祉協議会へ移動支援を提案しましたが、新型コロナウイルスの影響で、会議が中断しており、6月下旬から会議が再開されます。今後、地域の方と先進地の福山市への視察により知識や情報を得て、具体的な取り組みや課題を確認し、令和3年度からの事業展開に向けて積極的な支援を行ってまいります。

リメイク大和郡山について

富野 孝之 議員

問 多様化・高度化する市民ニーズに対応し、自治体が発展するためには、過去の施策にとらわれず、新しい考え方による行政運営が求められます。行財政改革を継続し、市民が安心して暮らせるための取り組みに還元していくことが求められます。平成18年から市が取り組んでこられた改革プラン「リメイク大和郡山」の成果と市民への還元、今後のビジョンについてお聞かせください。

答 人件費削減や公共施設の見直し、事務事業の効率化等により経費削減を図り、小中学校へのエアコン設置、中学校給食の実施、認定こども園の開設などの様々な取り組みを実施しました。今後も「継続は力なり」と、行財政改革と新たな取り組みを着実に実施していきます。

コロナ禍における新しい避難所運営について

河田 和美 議員

問 ①感染症予防の為、防護服等、新たな避難所備蓄品の購入は？②避難所である体育館での連絡手段は？③避難所運営マニュアル改訂版の作成予定は？④避難所でWi-Fi設置予定は？⑤内閣府防災担当が運用している「基盤的防災情報流通ネットワーク」の本市での導入は？

答 ①消毒液、非接触体温計、パーテーションなどを購入済みで、今後は自動膨張マットやトイレ処理剤など避難所の環境改善に役立つものを備蓄予定②開設頻度の高い避難所に無線機の配備を予定③避難者の検温や手指消毒・テントの利用方法などの説明書類を作成④必要性を認識しており、費用や工程を確認の上検討⑤現在奈良県防災情報システムを活用中ですが、調査・研究を進めます。